



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月8日

上場取引所 東 大

上場会社名 ニチバン株式会社

コード番号 4218 URL <http://www.nichiban.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀田 直人

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 管理本部長 (氏名) 酒井 寛規

TEL 03-5978-5601

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	9,178	0.7	379	△9.4	340	△13.8	173	△10.8
24年3月期第1四半期	9,112	△1.3	418	△4.7	394	△3.2	194	△3.4

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 204百万円 (3.4%) 24年3月期第1四半期 198百万円 (△5.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	4.19	—
24年3月期第1四半期	4.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	45,746	23,906	52.3	576.70
24年3月期	45,461	23,950	52.7	577.75

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 23,906百万円 24年3月期 23,950百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,500	3.1	850	5.8	800	2.2	450	3.0	10.86
通期	39,600	3.5	1,900	19.4	1,800	14.5	1,000	44.3	24.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	41,476,012 株	24年3月期	41,476,012 株
25年3月期1Q	22,884 株	24年3月期	21,924 株
25年3月期1Q	41,453,368 株	24年3月期1Q	41,455,362 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想は本資料の作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々要因によって予想数値と異なる場合があります。
上記の業績予想に関する事項は、添付資料P.3「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) セグメント情報等	10
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興関連需要等によりゆるやかな回復基調が見られるものの、海外経済の低迷と長期化する円高の影響、夏場の電力不足も懸念されるなど、依然として景気の先行きが不透明な状況が続いております。

このような経済情勢のなか、当グループでは中長期経営計画【NB100】のもと、収益構造の安定化に向けた「事業フィールド戦略」の着実な実践のために経営資源の選択と集中を明確に実行する取組みを行いました結果、売上高は91億7千8百万円（前年同期比0.7%増）、経常利益は3億4千万円（前年同期比13.8%減）、四半期純利益は1億円7千3百万円（前年同期比10.8%減）となりました。

事業の種類別セグメントの概況は、次のとおりであります。

メディカル事業本部

(ヘルスケアフィールド)

ドラッグストアを中心とした大衆薬市場におきましては、ドラッグストア店頭でお客様に対して、製品の持つ高い付加価値の告知や販売促進の取組みを重点的に行いました。その結果、3月に発売した新製品「ケアリーヴ[®]治す力」がご好評をいただいている救急絆創膏「ケアリーヴ[®]」シリーズを中心に売上は順調に推移いたしました。

(医療材フィールド)

医療機関向け医療材料市場におきましては、医療機関が感染予防や安全性への取組みを継続していることから、採血や透析後の止血に特化した「インジェクションパッドマイルド[®]」が好調に推移いたしました。

以上の取組みを実施してまいりました結果、ヘルスケアフィールドと医療材フィールドを合わせたメディカル事業本部全体の売上高は30億8千8百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は5億4千7百万円（前年同期比7.0%増）となりました。

テープ事業本部

(オフィスホームフィールド)

文具事務用品業界におきましては、「セロテープ[®]直線美[®]mini」等のパーソナル向け新製品が好評をいただいておりますが、主力ユーザーである官公庁・事業所需要の低迷が継続する非常に厳しい状況で推移いたしました。

(工業品フィールド)

産業用テープ業界におきましては、主力製品である梱包用テープが震災の影響を脱し回復の兆しが見えるとともに、3月に発売した「マスキングテープNo.222」が好評いただき、フィールド全体としても堅調に推移いたしました。

また、輸出につきましてはアジアを中心とする需要がありましたが、円高も影響し売上が前年実績を下回る結果となりました。

以上の取組みを実施してまいりました結果、オフィスホームフィールドと工業品フィールドを合わせたテープ事業本部全体の売上高は60億8千9百万円（前年同期比2.0%減）、営業利益は5億1千4百万円（前年同期比3.3%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の増加並びにたな卸資産の増加等により、前連結会計年度末に比べ2億8千5百万円増加し、457億4千6百万円となりました。また純資産は4千4百万円減少し、239億6百万円となりました。この結果、自己資本比率は52.3%となりました。

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ2億7百万円（2.0%）増加し、104億5千3百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前第1四半期連結累計期間に比べ1億4千2百万円（13.6%）減少し、9億9百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益、売上債権の減少、たな卸資産の増加等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、前第1四半期連結累計期間に比べ1億9百万円（21.3%）減少し、4億5百万円となりました。これは主に有形固定資産の購入等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、前第1四半期連結累計期間に比べ5百万円（2.0%）増加し、2億9千3百万円となりました。これは主に配当金支払等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高については概ね予想通りに推移するものの、利益面につきましては、石油製品を中心とする原材料価格の高騰の影響を強く受け、予想を下回る結果となりました。今後の経営環境につきましても、景況、原材料価格、為替等の動向に不透明な要素も多く、厳しい情勢が続くものと思われま

す。このような経営環境のなか、当グループは中長期経営計画【NB100】の2年目の取組みとして、基盤事業の効率化と営業体制の強化を継続し、経営資源の選択と集中による「事業フィールド戦略」を着実に実践することで収益構造の安定を目指して取り組んでまいります。

以上により、現時点におきましては、平成24年5月14日に発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。これによる影響額は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,055	10,263
受取手形及び売掛金	12,452	11,902
有価証券	506	506
商品及び製品	3,002	3,348
仕掛品	1,396	1,382
原材料及び貯蔵品	1,135	1,167
その他	786	762
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	29,331	29,329
固定資産		
有形固定資産	11,555	11,831
無形固定資産	81	77
投資その他の資産	4,492	4,507
固定資産合計	16,129	16,416
資産合計	45,461	45,746
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,640	7,605
1年内返済予定の長期借入金	2,000	—
未払法人税等	161	140
賞与引当金	—	473
役員賞与引当金	61	24
その他	4,508	4,592
流動負債合計	14,372	12,836
固定負債		
長期借入金	—	2,000
退職給付引当金	3,552	3,463
役員退職慰労引当金	91	81
長期預り保証金	2,891	2,849
資産除去債務	91	91
その他	511	517
固定負債合計	7,138	9,004
負債合計	21,511	21,840

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,451	5,451
資本剰余金	4,186	4,186
利益剰余金	14,464	14,388
自己株式	△7	△7
株主資本合計	24,095	24,019
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	51	47
為替換算調整勘定	△197	△161
その他の包括利益累計額合計	△145	△113
純資産合計	23,950	23,906
負債純資産合計	45,461	45,746

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	9,112	9,178
売上原価	6,500	6,543
売上総利益	2,612	2,634
販売費及び一般管理費	2,193	2,255
営業利益	418	379
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	4	4
持分法による投資利益	28	5
その他	8	11
営業外収益合計	41	21
営業外費用		
支払利息	15	13
支払手数料	31	31
その他	18	15
営業外費用合計	65	60
経常利益	394	340
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産除売却損	8	32
特別損失合計	8	32
税金等調整前四半期純利益	385	307
法人税等	191	134
少数株主損益調整前四半期純利益	194	173
四半期純利益	194	173

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	194	173
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	10	35
その他の包括利益合計	3	31
四半期包括利益	198	204
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	198	204

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	385	307
減価償却費	431	407
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△90	△88
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△164	△9
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
有形固定資産除売却損益(△は益)	7	4
受取利息及び受取配当金	△5	△4
支払利息	15	13
売上債権の増減額(△は増加)	586	549
たな卸資産の増減額(△は増加)	△822	△364
仕入債務の増減額(△は減少)	570	△35
その他	343	285
小計	1,257	1,066
利息及び配当金の受取額	5	4
利息の支払額	△18	△18
法人税等の支払額	△191	△142
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,052	909
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△416	△316
定期預金の払戻による収入	415	316
有形固定資産の取得による支出	△513	△401
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
その他	△0	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△515	△405
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	2,000
長期借入金の返済による支出	—	△2,000
配当金の支払額	△248	△248
その他	△39	△44
財務活動によるキャッシュ・フロー	△287	△293
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△2
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	247	207
現金及び現金同等物の期首残高	10,495	10,245
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,743	10,453

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	メディカル事業本部 (百万円)	テープ事業本部 (百万円)			
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,900	6,212	9,112	—	9,112
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	7	19	26	(26)	—
計	2,907	6,231	9,138	(26)	9,112
セグメント利益	511	531	1,043	(624)	418

(注) 1. セグメント利益の調整額624百万円には、セグメント間取引消去26百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用597百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
	メディカル事業本部 (百万円)	テープ事業本部 (百万円)			
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	3,088	6,089	9,178	—	9,178
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	13	18	31	(31)	—
計	3,101	6,108	9,209	(31)	9,178
セグメント利益	547	514	1,061	(682)	379

(注) 1. セグメント利益の調整額682百万円には、セグメント間取引消去31百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用650百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。